

## 根室市のまちづくり・市政推進のために取り組むべき課題

### Society5.0 と行政のデジタル化への取り組みについて

世界は、情報化社会から超スマート社会（Society5.0）へと移行・展開しており、新型コロナウイルス感染症の拡大により、ICT、IoT 等の加速化する様々な技術革新を活かした社会変容への取り組みが進み、超スマート社会への移行を見据えたまちづくりへの取り組みも求められるものと考えます。

超スマート社会（Society5.0）は、狩猟社会、農耕社会、工業社会、そして情報社会に続く新たな社会の姿であり、インターネットなどの仮想の「サイバー空間」と私たちが暮らす現実の「フィジカル空間」を AI や IoT、ロボットなどにより高度に融合させ、経済発展と社会的課題の解決を両立させる社会です。

交通・運輸、医療・介護、ビジネス等我々の暮らしのあらゆる分野において、格差なく、多様なニーズに対してきめ細やかに対応した「もの」や「サービス」を提供することのできる、この新しい社会、根室市が抱える様々な課題解決、地域経済の活性化やまちづくり戦略において積極的に取り入れる姿勢が必要であり、行政が地域全体のイニシアティブと取り組むべきと考えます。

超スマート社会へ移行を支える取り組みとして、根室市として、国が進めるデジタルガバメントについての情報収集に努め、行政手続をはじめとする行政運営・サービスの効率化のために、更には、まちづくり推進の観点から、市民サービスの各分野のデジタル化、データとデジタル技術を活用する業務スタイルの変革等を積極的に進めることも重要なテーマでだと思います。

#### ※参 考

インターネットの登場した1990年代後半、世界はシームレス、何処に住んでいても情報格差はなくビジネスができる時代と言われ4半世紀が過ぎ、中々、簡単にはいきませんでした。着実に技術革新は進んできています。

本田俊治と明日の根室をつくる会（討議資料）

[http://nimuoro.lekumo.biz/tomorrow\\_nemuro/](http://nimuoro.lekumo.biz/tomorrow_nemuro/)

mail : tomorrow.nemuro@gmail.com

これからは更なる技術革新を活かし、「生活」「産業」が変わる、経済活動の「糧」が変わる、「行政」「インフラ」が変わる、「地域」「コミュニティ」中小企業が変わる、「人材」が変わる超スマート社会です。